

電子音楽の歴史

菅野 由弘 (早稲田大学理工学部・複合領域)
ykanno@waseda.jp

電子機器を使用した音楽が作られ始めてから約 65 年、ミュージック・コンクレート と呼ばれる録音された電子音楽が生まれてから 56 年、今の所「歴史」と呼べるほどの年月は経ていないが、着実に歩を刻んで来た。この流れは、ここ 20 年ほどの、コンピュータの発達により更に加速したとも言えるが、初期の電子音楽に表現された情熱が、機器の進歩と共に失われた感もある。ここでは、最初期から 70 年代の「コンピュータを使用していない電子音楽」を、NHK 電子音楽スタジオで作られた日本の作品を中心に聴いてみたい。

曲目リスト

- 1939 ジョン・ケージ「イマジナリー・ランドスケープ 1」
- 1948 ピエール・シェフェール「5 つの騒音のためのエチュード」
- 1950 ピエール・シェフェール「1 人の人間のためのシンフォニー」
- 1955 黛 敏郎「素数の比系列による正弦波の音楽」
- 1955 柴田南雄「立体放送のためのミュージックコンクレート」
- 1956 シュトックハウゼン「青年の歌」
- 1957 エドガー・ヴァレーズ「ポエム・エレクトロニック」
- 1958 武満 徹「空馬 そして死」
- 1962 一柳 慧「パラレルミュージック」
- 1962 高橋悠治「フォノジェーヌ」
- 1964 湯浅譲二「プロジェクション・エッセンプラスティックス」
- 1965 石井真木「波紋」
- 1966 シュトックハウゼン「ソロ」
- 1967 湯浅譲二「アイコン」
- 1969 一柳 慧「東京 1969」
- 1971 近藤 譲「ネヴァー・リターン」
- 1971 小杉武久「キャッチ・ウエーブ」
- 1973 マイケル・ランタ「チャンタ・カ」
- 1974 篠原 真「ブロードキャストイング」
- 1974 石井真木「アニメ・アマーレ」
- 1986 菅野由弘「時の鏡 I-風の地平」